

境港地域における水産物の生産・流通に関する事業継続計画について

1 さかいみなと漁港・市場活性化協議会 第3回災害復旧ワーキンググループ会議の概要

- (1) 日 時 令和元年9月5日(木) 13:00~14:30
- (2) 場 所 みさき会館 大会議室
- (3) 出席者 別紙名簿を参照
- (4) 概 要 改訂案が了承された。また、(一財)漁港漁場漁村総合研究所の後藤氏を講師として迎え、「水産物の生産・流通に関する事業計画(BCP)について」講演いただいた。講演を参考に令和2年に机上訓練を実施することとなった。
- (5) BCPの主な改訂内容

1号・陸送上屋の供用開始に伴う変更及び漁港インフラの被害状況把握体制の構築についてフローを作成し追加した。

●BCPの改定内容一覧

資料 ページ	改定の内容
BCP-P54	・瓦礫の保管場所の確保→候補地のリストアップ
BCP-P56	・岸壁の被害状況の把握体制の構築→フロー作成 ・応急復旧を行う岸壁の順位は次回のワーキンググループにて協議
BCP-P57	・陸電に被害状況の把握体制の構築→フロー作成 ・陸電施設一覧を追加
BCP-P58	・漁船被害状況の把握体制の構築→フロー作成
BCP-P60	・荷捌き所の被害状況の把握体制の構築→フロー作成 ・応急復旧を行う荷捌き所の順位は次回のワーキンググループにて協議
BCP-P61	・荷揚機材の被害状況の把握体制の構築→フロー作成
BCP-P62	・フォークリフトの被害状況の把握体制の構築→フロー作成 ・場内の電気リフトの保有台数一覧表を追加
BCP-P64	・製氷施設の被害状況の把握体制の構築→フロー作成
BCP-P66	・臨港道路の被害状況の把握体制の構築→フロー作成
BCP-68~69	・公的支援の確認、整理
BCP-91	・境港市津波・洪水ハザードマップの更新
資料 1-2	・連絡網の再構築(災害発生時の情報発信)
資料 1-3	・緊急時連絡先の聞き取り

(6) 今後の予定

本年9~10月に机上訓練を行い、境港地域BCPの問題点を洗い出す。

令和2年度 境港水産業BCP机上訓練実施要領（案）

1. 目的

境港地域BCPを用いて机上訓練で実践し、境港地域BCPの問題点・課題を抽出する。なお、今回の訓練では、津波災害に伴い機能不全（機材流出）に陥った境漁港において業務を継続させるための応急的な資源回復の具体の手段について荷受業者（3社）が相互で理解を深めることを中心的なテーマとする。

2. 実施日時

令和2年9月●日（●）10：30～12：00

3. 場所

みさき会館大会議室

4. 訓練方法

机上訓練

5. 参加機関等

（1）訓練参加対象機関

境港魚市場株式会社、鳥取県漁業協同組合、漁業協同組合 JF しまね、境港市場管理株式会社、境港水産事務所の各職員合計20名程度

（2）訓練のサポート（訓練支援業務委託受注者 1名）

6. 机上訓練等のプログラム

（1）オリエンテーション

- ・配布資料の確認
- ・訓練の趣旨説明
- ・訓練の方法説明

（2）被害想定

佐渡北方沖断層で地震が発生、津波により岸壁及び1号・陸送上屋の1階部分が浸水し、荷揚機材の流出が予想される。境港市への海面変動30cm到達時間は111分、最大津波到達時間は183分、最大津波高は3.7m。境港市の浸水面積は398ha。

（3）訓練方法

- ①被災状況の把握：各団体は、漁港施設の被災状況を付箋に記入し、大判図面に貼り付けて被災状況を集約する。
- ②復旧方針：漁業種毎に支障となる機能の復旧期間を検討し、「各機能の復旧期間(大判)」にまとめ、各漁業種が復旧できるまでの期間を把握する。

<検討の視点>

- ・水産物の生産・流通は可能か？
- ・復旧に向けて最も優先して確保すべき機能は何か？

7. 講評